

協働事業に関する提案書

令和 4年 8月 12日

(宛先) 狭山市長

団体名 こそだて支援 comono

所在地

代表者名 兒玉 保光

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業・行政提案型協働事業
2 事業名	音楽を通じた"孤育て"支援 —打楽器のワークショップで作る交流の場—
3 事業期間	令和 4年 9月 1日から令和 5年 2月 28日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 210,750円(内補助金申請額 210,000円)
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	2022年10月、12月、翌年2月の3回、市内の公共施設で乳児から大人まで楽しめる打楽器のワークショップを開催し"ママ友"との出会いと交流の場を作ると共に市内の子育て支援情報を提供する。
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 こそだて支援 comono

1 事業名	音楽を通じた”孤育て”支援 打楽器のワークショップで作る交流の場
2 事業の詳細	呼びかけは乳幼児連れの親子が中心となるが、音楽に興味のある全世代に向けて開催する。「パチカ」の回は、パチカ製作者であるKAKUEI氏を招き、貸出用のパチカを使って、リズムを取り、リズムを作るところまで、KAKUEI氏と演奏しながら楽しむ。 (パチカは購入の希望があればKAKUEI氏が希望者に販売する。) 「ツナPAN」の回では、「ツナPAN」を考案したスティールパン奏者の伊澤陽一さんを招き、缶詰を叩き、打楽器を作成し、できた音を使って、スティールパンと共にクリスマスソングを演奏する。参加費はいずれの回も無料とする。子どもも大人も一緒に楽しむことで気分をリフレッシュし、中々上手く演奏できないことも交流のきっかけ作りとなる。会場には市内の子育て支援サービス情報を提供するブースを設置し、悩みの相談先や制度の情報を提供する。
3 実施体制	ワークショップはアーティストを中心に、comonoの兒玉とワークショップボランティアが運営の裏方となり実施する。子育て支援情報ブースは、市の子育て支援事業と連携して情報収集を行い、実施する。
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】 アーティストとの連絡調整・チラシ作成 スタッフ間の連絡調整・当日使用する備品準備 子育て支援情報のチラシ収集</p> <p>【市の役割】 子育て支援情報のチラシ等の提供 ワークショップ開催時の告知 ワークショップ開催場所の相談、備品の貸し出し 事業予算の補助</p>
5 協働の効果	母親たちをつなぐ交流の場、リフレッシュの場として機能することによって、市内の”孤育て”中の”お母さん”の気持ちを少しでも和らげることは、子育てしやすい街づくりの一翼を担う。また、市で行っている子育て支援サービス情報を提供する場となり、アウトリーチの役割を担う。
6 事業のアピールポイント	音楽は心をワクワクさせるツールであり、気軽に足を運べる場である。乳幼児と一緒に音楽を楽しむ催しは、毎日ひとりぼっちで孤育てに忙殺されている”お母さん”が親子で外出する最適なきっかけを作る。繋がりを求める仲間達が出会い、交流し、子育て支援情報も入手できる場は重要である。音楽に触れることで気分もリフレッシュし、楽器の演奏は情操教育の役割も担う。